



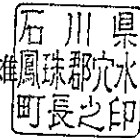
基 整 発 第 987 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

石川県鳳珠郡穴水町字川島ウの174番地

穴 水 町

穴水町長 石川 宣雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

標記のことについて、平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼
がありましたので、別添様式により提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

石川県穴水町

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

「道路」は、地域の住民の安全・安心の確保や経済・社会活動を支える基礎的な社会基盤で、特に穴水町においては、広い面積、集落の拡散、のと鉄道の廃止（平成17年3月）により、多様な交通手段を有する大都市圏とは異なり、移動に当たっては、自動車に頼らざるを得ないため、今後とも着実に整備を進めていくことが必要であり、そのためには安定的な財源を確保していくことが不可欠であります。

そのため、道路整備に必要な財源を確保し地方への配分割合を高め、地方道路整備臨時交付金につきましても、地方が主体的に道路整備が行えるような財源を確保し拡充していただきたい。

○ 現状

当町は、能登半島の中央に位置し、昭和7年に鉄道が開通し奥能登の玄関口として賑わっていました。

その後、昭和40年代後半からの車社会の到来により、国道249号や主要地方道、都市計画道路(バイパス)の整備が進み、更に能登有料道路の開通により、当町はもとより、奥能登全体の経済や生活が活性化されました。しかしながら、それまで通勤通学者で溢れかえっていた鉄道利用者が年々減少し、平成17年3月末で、のと鉄道の穴水駅以北が廃線となり、当町も約半分の地域が影響を受け、現在代替バスが運行しているが、赤字経営が続き先行きが見えない状態となっている。

移動手段が自動車か代替バスしかなく、過疎化、少子高齢化により人口が減少し、集落には高齢者が残されるなか、行政のサービス水準、住民の生活水準の低下防止を図っていくことが求められている。

○ 課題

交通弱者(児童生徒、高齢者)に対し、広い面積、集落の拡散という本町の特性から、通学、通院、買物等の足を安定的に確保するためには、安心して安全に走れる道路整備を行っていく必要がある。

②-2 地域の目指すべき将来像

石川県穴水町

能登空港及び能越自動車道などの交通インフラの整備を契機に、奥能登の交通の要衝にあたる当地を新たな発展軸として、市街地拡張や土地利用の高度化を進めたり、行政と町民、生産者（農・林・漁）、企業が一体となって、民間主導型の定住人口の促進（既存別荘地の活用・宅地造成・福祉サービス事業）や地域資源の活用促進（四季折々の新鮮な食材のPR・自然保護ビジネスの掘り起こし）により町の活性化を進め、奥能登地域はもとより、都市との交流人口の拡大を図るとともに、町内交通については、移動手段が自動車しかないことから、交通弱者（児童生徒、高齢者）に対し、通学、通院、買物等の足を安定的に確保する為、引き続き急カーブや急勾配、擦れ違いが困難な道路の整備を行い、安心安全な生活の確保を図ることにより、「住みよいまちづくり」を目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

石川県穴水町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	現在検討中。	○○○○	○○○○
・少子・高齢化社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	現在検討中。		